

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	肝細胞癌RFA後のCT低吸収域の経時的変化に関する検討		
② 実施予定期間	2024年1月9日から2029年3月31日		
③ 対象患者	以下の対象期間中に当院の対象診療科で肝細胞癌に対してラジオ波焼灼療法（RFA）を受けられた患者さん		
④ 対象期間	研究対象とする期間；2015年6月1日から2023年3月31日 追跡期間 2023年10月31日		
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院		
⑥ 対象診療科	第1内科		
⑦ 研究責任者	氏名	東 麻由美	所属 放射線科
⑧ 使用する情報等	識別コード、年齢、性別、現病歴、既往歴、治療方法（肝動脈化学塞栓術併用の有無）、血液検査結果（AST、ALT、LDH、ALP、コリンエステラーゼ、アルブミン、総ビリルビン、直接ビリルビン、プロトロンビン時間、血小板数、FIB-4 index）、CT画像（肝細胞癌の個数・大きさ・区域、肝臓の大きさ、RFA後の低吸収体積および経時変化）		
⑨ 研究の概要	<p>肝細胞癌に対する治療法の1つに経皮的ラジオ波焼灼療法（radio frequency ablation: RFA）が挙げられ、肝癌診療ガイドラインでは3cm以下の病変に対して推奨されています。焼灼部位は経過観察のCTで低吸収域を示しますが、時間が経過するにつれて、そのサイズは縮小してきます。縮小率には個人差がみられますが、その因子に関しては十分に検討されていません。</p> <p>本研究の目的は、肝細胞癌RFA後のCT低吸収域の縮小率と肝機能や血液検査所見の関連性について検討することです。肝臓における治療後変化の因子を特定することは、画像診断の側面から肝再生能を予測する上で重要です。</p>		
⑩ 実施許可	研究実施許可日	2026年 2月 27日	
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。		
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。		

⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。		
⑮ 研究の資金源	放射線医学講座の奨学寄付金にて行います。		
⑯ 利益相反	ありません		
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 放射線科 担当者：東 麻由美		
	電話	0836-22-2285	FAX 0836-22-2285